

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期 3 Q	6,021,112株	2025年2月期	6,021,112株
② 期末自己株式数	2026年2月期 3 Q	256,756株	2025年2月期	256,756株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年2月期 3 Q	5,764,356株	2025年2月期 3 Q	5,764,356株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、ゆるやかな回復基調を維持しております。一方で、国際情勢の不透明感や円安基調の継続により、輸入物価の上昇圧力が残存し、原材料費の高止まりが続くなど、企業収益を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、インバウンド需要の活性化や消費者の外食志向の高まりを背景に、業績は堅調に推移しております。一方で、米価を中心とした原材料費の高騰や人件費の上昇など、費用面での負担は依然として大きい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、中長期的な経営戦略である多店舗展開へ向け、「仕組化」の取り組みを重点的に進めております。マニュアルの運用定着や業務プロセスの見直しを通じて、効率的な店舗運営体制の構築を進めています。

販売促進施策として、Instagram、X（旧Twitter）、LINE及びクラシル社のWebチラシを活用した情報発信を継続するとともに、ポスティングや折込チラシの配布を通じて、認知度向上と来店促進に努めています。また、インバウンド需要の活性化に伴いまして、引き続き専属部署による予約体制の強化を継続しております。

商品力強化の一環として、当社グループの主力である「まるまつ」では株式会社陣中のブランド商品「牛タン」を使用したコラボメニューを継続して展開しております。また、「かつ」業態においては、平田牧場の「三元豚」を使用したコラボメニューを継続するなど、ブランド価値の向上に努めています。

これらの取り組みを進める一方で、原材料費および人件費の上昇が続いております。品質維持と安定的な店舗運営を継続するため、当社グループの主力業態「まるまつ」では11月に商品の価格改定を実施いたしました。

これらの取り組みをすすめた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は57億37百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は2億88百万円（前年同期比14.6%減）、経常利益は2億87百万円（前年同期比13.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億62百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して5億93百万円増加し、56億14百万円となりました。

流動資産の合計は4億68百万円増加し、19億14百万円となりました。これは主に、現金及び預金が3億69百万円、売掛金が59百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産の合計は1億24百万円増加し、37億円となりました。これは主に、建物及び構築物が49百万円減少した一方、工具、器具及び備品が1億60百万円、建設仮勘定が27百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債総額は、前連結会計年度末と比較して3億60百万円増加し、34億4百万円となりました。これは主に、長期借入金が1億68百万円、未払金が76百万円、未払費用が96百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して2億33百万円増加し、22億10百万円となりました。これは、主に配当金の支払いにより利益剰余金が28百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が2億62百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想につきましては、2025年4月7日に公表いたしました「2025年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の数値から変更はありません。なお、業績予想につきましては、当該資料の公表日現在において当社が入手した情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,006,201	1,375,391
売掛金	105,793	165,613
商品及び製品	213,803	235,519
原材料及び貯蔵品	30,060	44,738
その他	89,628	93,141
流動資産合計	1,445,488	1,914,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	812,913	762,918
機械装置及び運搬具（純額）	59,802	48,613
工具、器具及び備品（純額）	73,196	233,545
土地	1,862,824	1,859,706
建設仮勘定	—	27,940
有形固定資産合計	2,808,736	2,932,723
無形固定資産		
	105,633	102,348
投資その他の資産		
投資有価証券	283	283
長期貸付金	19,612	12,497
敷金及び保証金	493,087	503,378
繰延税金資産	133,628	134,396
その他	16,543	15,403
貸倒引当金	△1,892	△604
投資その他の資産合計	661,261	665,355
固定資産合計	3,575,631	3,700,427
資産合計	5,021,120	5,614,832
負債の部		
流動負債		
買掛金	140,905	179,365
1年内返済予定の長期借入金	637,862	677,770
未払法人税等	34,324	25,362
賞与引当金	27,926	—
資産除去債務	—	2,794
未払費用	206,532	302,907
契約負債	33,129	32,852
その他	163,888	225,147
流動負債合計	1,244,568	1,446,201
固定負債		
長期借入金	1,538,558	1,706,655
長期未払金	10,400	10,400
資産除去債務	176,307	173,586
その他	74,501	67,639
固定負債合計	1,799,766	1,958,280
負債合計	3,044,335	3,404,481

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,370,517	1,370,517
利益剰余金	707,625	941,191
自己株式	△151,358	△151,358
株主資本合計	1,976,784	2,210,350
純資産合計	1,976,784	2,210,350
負債純資産合計	5,021,120	5,614,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
売上高	5,522,860	5,737,590
売上原価	1,629,903	1,752,274
売上総利益	3,892,957	3,985,315
販売費及び一般管理費	3,554,808	3,696,646
営業利益	338,148	288,669
営業外収益		
受取利息	1,008	1,870
協賛金収入	5,707	5,544
受取賃貸料	52,480	51,759
その他	11,025	8,574
営業外収益合計	70,222	67,748
営業外費用		
支払利息	29,658	21,052
賃貸費用	44,056	44,422
その他	2,523	3,600
営業外費用合計	76,238	69,075
経常利益	332,132	287,341
特別利益		
固定資産売却益	599	102
受取補償金	25,098	—
新株予約権戻入益	7,854	—
特別利益合計	33,551	102
特別損失		
店舗閉鎖損失	1,363	—
減損損失	—	241
固定資産除却損	15	221
店舗移転費用	7,370	—
特別損失合計	8,749	462
税金等調整前四半期純利益	356,934	286,981
法人税、住民税及び事業税	25,362	25,362
法人税等調整額	1,491	△768
法人税等合計	26,854	24,593
四半期純利益	330,080	262,387
親会社株主に帰属する四半期純利益	330,080	262,387

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
四半期純利益	330,080	262,387
四半期包括利益	330,080	262,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,080	262,387

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

('法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準'等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

当社グループの報告セグメントはレストラン事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)

当社グループの報告セグメントはレストラン事業のみであり、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	107,202千円	123,634千円